



2025年12月16日

各 位

会 社 名 株式会社サトー
代 表 者 代表取締役 社長執行役員 グループ CEO
小沼 宏行
(コード番号 6287 東証プライム市場)
U R L <https://www.sato.co.jp>
問い合わせ先 上席執行役員 CFO 兼財務本部長 益子 統
電 話 番 号 03(6628)2423

中期経営計画（FY24-28）アップデートに関するお知らせ

記

当社は、2024年3月に公表いたしました中期経営計画（FY24-28）につき、進捗状況および事業環境の変化を踏まえ、一部内容をアップデートしましたので下記のとおりお知らせいたします。

1. アップデートの背景

現中期経営計画では、FY24-25 を利益回復期、FY26-28 を成長投資の再開期と位置付け、コアビジネスの収益性改善と「Perfect and Unique Tagging (PUT)」構想の実現に取り組んでまいりました。足元では、利益改善が計画通り進展する一方、地政学リスク対応やサイバーセキュリティなどグローバル事業運営に必要な経営基盤の重要性が高まっています。

また、PUT は「最適なタギング※1」によって唯一無二の情報を取得・活用する当社独自の概念であり、これを起点に血液 SCM やサーキュラーエコノミー等の拡張領域で協業や商品開発を含む事業化に向けた準備が進み、将来的成長ドライバーとしての見通しが高まっています。

これらの進展を踏まえ、2030年ビジョンの実現に向けて成長確度を一段と高めるべく、中期経営計画の一部をアップデートするものです。

※1 タギング：お客様の現場でモノやヒトにIDや位置などの情報を物理的にひも付けし、それを上位システムに受け渡すこと

2. 主なアップデートの内容

主な更新点は以下のとおりです。

（1）戦略ポートフォリオの明確化（重点領域の明確化）

従来方針に基づき、コアビジネスの収益基盤強化と、育成・拡張事業の中でも将来の成果が見込まれるテーマを、2030年に向けた成長ドライバーとして位置付ける戦略ポートフォリオを明確化しました。これにより、事業の役割に応じて経営資源配分を最適化し、持続的な成長基盤の確立を図ってまいります。

（2）経営目標（FY28）の新規設定

FY28 の新たな経営目標として、売上高 1,860 億円、営業利益 157 億円、ROIC 9.4%、ROE 10.2%、PBR 1.0 倍以上の早期実現としました。

（3）拡張領域の整理と PUT 関連事業の進展

2024年3月公表の中期経営計画で示した「新領域」について、本アップデートでは「拡張領域」として再整理しました。なお、これは中期経営計画の説明上の区分であり、当社のセグメント構成である自動認識ソリューシ

ヨン事業および海外・日本区分について、変更はございません。

拡張領域では、血液SCM、サーキュラーエコノミーに加え、新たにスマートパッケージングを戦略テーマとして位置付け、各テーマにおいて事業化に向けた準備や用途探索が進展しています。特に血液SCMではFY30に100億円規模をめざし、協業を含む取り組みを進めています。

(4) キャピタル・アロケーションの更新

FY25-28の期間において約700億円のキャッシュ創出を見込んでいます。本期間では、事業成長に向けた投資を最優先するとともに、株主還元については累進配当方針を維持する考えです。創出キャッシュの配分については、事業投資を優先した上で、株主還元にも適切に充当する方針であり、現時点では、事業投資約70%、株主還元約20%を目安としております。

本アップデートを踏まえ、FY28の目標達成に向け、コアビジネスの収益基盤強化と拡張領域の事業化を推進し、ROICを中心とした資本効率向上を図ってまいります。

詳細につきましては、別紙「中期経営計画（FY24-28）アップデート説明資料」をご参照ください。

詳細につきましては、当社ウェブサイトの以下のページをご参照ください。

URL: <https://www.sato-global.com/ja/ir/event/others-session/>

以上